

留学を終えて

岐山高等学校 河村 彩結桜（カナダ）

私はカナダのブリティッシュコロンビア州デルタという町に10か月間留学しました。留学先での生活や友達作り、ホストファミリー、学校生活について振り返りたいと思います。

私が留学していた地域は日本とあまり変わらない気候で、雪はほとんど降りませんでした。一年中空気が乾燥しており、夏でも過ごしやすかったです。カナダにはサマータイムがあり、3月から11月までは日照時間が長く、夜でも明るかったです。日本にはないサマータイムを経験出来て良かったです。

まず友達作りについてです。初めてオリエンテーションに参加した日、私は英語が全く話せなかったため、自分から話しかけることができず、友達もできませんでした。周りの留学生の子たちは英語を上手に話し積極的に話しかけていました。私はそれを見て不安と焦りを感じました。留学する前からいろんな国の友達をたくさん作ると意気込んでいました。しかし、現実と思うようにいきませんでした。すでにグループができており、国ごとに固まっていた。そこで私は同じクラスの留学生の子に積極的に話しかけたり、クラブに参加したりしました。そのおかげで仲の良い友達を作ることが出来ました。友達作りでは積極的にいろんな人に話しかけることが大切だと思います。

次にホストファミリーとの関係です。私のホームステイ先のホストファミリーはとても良い方たちでした。特にホストマザーは私のことをとてもよく世話してくれました。毎日学校から帰ってきたら「今日学校どうだった」と聞いてくれていたので学校や友達の話をしていました。ホストマザーは仕事をして時間がない中でも、私と話す時間を作ってくれました。そのおかげで私の英語力は伸びたと思います。週末の夜には家族みんなで映画を観ました。特にクリスマスの日には家族みんなで一日中映画を見たことが印象に残っています。良いホストファミリーに出会えたことでホームシックになることもなく、充実した毎日を送ることが出来ました。今でもホストファミリーと仲が良く連絡を取り合っています。

次に学校生活についてです。私が通っていた学校では前期4教科、後期4教科という風に分かれていました。前期はカフェテリアや裁縫のクラスを取っていました。カフェテリアのクラスでは学校で販売するサンドイッチやパン、パスタ、サラダ、お菓子などを作りました。最初は調理器具の名前やレシピを英語で理解するのが大変でしたが、先生や周りの子に助けをもらいながら少しずつ覚え、一人でも作れるようになりました。裁縫のクラスも同様に分からない専門用語がありました。また、英語力が低かったため、先生に質問するときも自分が何を聞きたいのかをうまく説明するのに苦労しました。しかし、先生が丁寧に説明してくださったおかげで理解を深めることができ、最終的には納得のいく作品を作り上げることが出来ました。後期はサイエンスや数学のクラスを取っていました。特にサイエンスは専門用語が多く、暗記も多も多かったため、授業の内容についていっただけでも大変でした。また、プロジェクトや課題、プレゼンテーションも多く、留学生の私にとって現地の子と同

じょうにこなすのは大変でした。しかし、分からないところは先生に質問したり、プレゼンテーションの内容についてアドバイスをもらったりしながら取り組み、無事にやり遂げることができました。最終的には良い評価を受けることができ、大きな達成感を得ました。

10ヶ月間のカナダ留学を通して、私は大きく成長できたと思います。たくさんの経験、学びを得ることが出来ました。これらの得たものを生かせるように今後も努力していきます。

